

『ベスト & ブライテスト 上・中・下巻』

デイヴィッド・ハルバースタム著；浅野輔訳 二玄社



本館	請求記号：K/253.07/H21	資料ID：上：109209569 中：109209445 下：109195537
Knowledge Base	請求記号： /253.07/H21	資料ID：上：110932142 中：111077400 下：111077418

法学部教授 田澤 元章

本書は、米国のケネディ政権からジョンソン政権の時期において、「最良の、最も聡明な」人材と絶賛された閣僚や政府高官達が、いかにして政策を過ち、米国をベトナム戦争の泥沼に引きずりこんでいったのかを、鮮やかに描いたドキュメンタリーである。

ベスト & ブライテストといわれた「賢者」は、実は、ベトナムの歴史的条件を理解せず、自らの偏見に支配され、おのれの能力を過信し、米国の軍事的・経済的物量だけに頼り、史上稀にみる大破壊を行った「愚者」なのであり、その愚かさをもたらしたのは彼らの傲慢さであったと著者は指摘する。最近のロシアとウクライナの戦争にも通ずるものがあると感ずる。

歴史は、登場人物や舞台設定を変えて繰り返すともいわれる。ベトナム戦争が始まった当初、誰が米国の敗北を予想しただろうか。ロシアがウクライナに侵攻した当初、誰がロシアの現在の苦戦を予想しただろうか。

本書はドキュメンタリーではあるが、ジャーナリストである著者によるケネディ大統領はじめ登場人物の生き生きとした描写により、まるで小説を読むように、どんどん話に引き込まれる語り口となっている。出版当時、本書がひろく一般の人々にも読まれ、米国のみならず日本を含む世界各国でベストセラーとなった所以であろう。